

東京の莫大な震災被害は都市計画の問題？

関東大震災の震源は神奈川県西部。根府川では山が崩れ、家々が埋まり駅や列車が海に流された。

こうなつたのは、大手不動産会社等が利益を上げる為、法律を変え、都心の容積率や高さ制限を緩めたから。不動産大手にとっては都会の土地が急に何倍にもなつたようなもの。

東京は震源に近くはなかつたが火災で壊滅的となつた。

国費は軍備にばかり使われ、防災の為の都市計画は進められず震災で大きな犠牲を出した。広い道で地域を区切る事も無く、住宅の防火対策も無かつた。

国の発展計画無し

しかし、超巨大化した現代の都市の防災をどうすべきなのか？

必要なのは個々の都市の都市計画ではなく、日本全体の計画だ。

即ち、東京や大阪など、巨大都市に人口を集中させる事の是非。

超高層のオフィスビルが都心に並び、そこに働く人々が住むタワーマンションが次々に建てられた。これは都会に人口を集中させる政策だ。

こうなつたのは、大手不動産会社等が利益を上げる為、法律を変え、都心の容積率や高さ制限を緩めたから。不動産大手にとっては都会の土地が急に何倍にもなつたようなもの。

もし、高さ制限も容積率も緩めなければ、都心に超高層オフィスビルを建てることもタワーマンションを建てることもできない。そうしたらオフィスは地方に分散するだろう。

今は、会社同士が遠く離れていてもインターネットを使って随時会議を開くことができる。必要な書類も送ることが出来る。

こうして地方分散を考へるべきではないか？

あなたはどう思われますか？

日本新聞博物館 (愛称 ニュースパーク)

横浜市地下鉄日本大通り駅近く
二〇二三年八月



近くの「横浜都市発展記念館」では神奈川県西部を襲った山津波の写真等も見る事が出来る。。

企画展「そのとき新聞は、記者は、情報は―関東大震災百年」が12月24日まで開催中。

興味深い記事の展示がある。

「鮮人を中心とする大陰謀事件はまだ報道を許されもある。」

甘粕大尉による大杉栄殺害事件の報道は必見。

戒厳司令部の「鮮人暴動は流言(ヒデマ)」の記事もある一方「鮮人の流言は警察から、調査を進めぬ警視庁」という記事もある。

「鮮人を殺害したとの報道もある。」

甘粕大尉による大杉栄殺害事件の報道は必見。

戒厳司令部の「鮮人暴動は流言(ヒデマ)」の記事もある一方「鮮人の流言は警察から、調査を進めぬ警視庁」という記事もある。

「鮮人を殺害したとの報道もある。」

